

5月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



5/11 最初に草笛に挑戦！
ボーイ隊の小倉リーダーが、
草笛の葉っぱを教えてくれて、
みんなですべてをみつけて草笛を吹いてみ



ることに挑戦
しました。最初
はなかなか難

しい様子でしたが、慣れるとみんな上手に音を出すことができる
ようになりました。その後は希望者で材料調達にでかけ、先月のハ
イキングで話題になったブーメラン作り。Y字に切ったブーメラン
を飛ばしてみると、けっこううまく飛びました！

5/24 初夏に海を感じよう！と、いつもより少し足を延ばして、横
浜市金沢区の野島
公園へハイキング
に出かけました。

朝は怪しい雲行きでしたが、駅につく頃には
すっきり晴れ、夏の日差しが眩しいとても初
夏らしい天気。港町ならではの植物や景色
を眺めつつ、野島に上陸しました。お昼ごはん
を食べ広場で遊んでいると、たけのこを発見！
こんなところにたけのこが！とびっくり。
そして午後には今年初めて？の海遊び。短い
時間でしたが、生き物を見つけるなど海を満
喫しました。今回は歩く時間が長かったけれ
ど、それでも元気に楽しく遊ぶ姿を見て、成
長を感じるハイキングでした。



カブ(CS)隊



5/11 ユニセフ募金の準備をし
ました。いつもとは違い、今年は
4月に起きたネパールの大地震
の話を伝え世界中の子供たちは
もちろん、今回は特にネパールの子供たちを
救おうということで、募金呼びかけのポス
ターを作りました。6月の募金活動はこのポス
ターを持って、街行く人々に呼びかけます。

5/24 武蔵五日市駅から秋川丘陵・金剛の滝
を巡るハイキングに行きました。病気・けが
で2人のスカウトが休み。なかなか全員が揃
いません。2つの組で競う予定でしたが、4

人一組で行動しました。事前の予報とは違い、気持ちのいい晴れの中、いつものようにリーダ
ーから出された暗号解読からスタートです。山道を抜け谷底へ降りればそこには気持ちのいい
水場がありました。滝から流れ落ちる水はまだ冷たかったけれど、マイナスイオンと鳥の囀り
をBGMにおいしいおにぎりを食べました。

ビーバースカウト、カブスカウト大募集中です。

お知り合いへのお声かけ、ご紹介をお願いします。

ボーイ(BS)隊



5/3-5 船橋市の青少年キャンプ場にて春季キャンプを行いました。他の班員の都合が合わず、残念ながら3人でのキャンプとなりました。それでも、テント・

フライなど普段のキャンプと変わらない内容を3人でこなさないといけません。一人でもいなくなったら何も進まない状況で、それぞれの役割を一生懸命こなしていました。そのかいもあってか、無事に設営や調理を終えることができ、むしろ結束感が増していつになく頼もしく見えました。2日目の夜には、普段のキャンプよりも楽しかったという声も... (笑)。来る夏キャンプに向けて、いい弾みになったキャンプでした。

5/11 班集会を行い、次週のふれあい運動会に向けて、福祉について学びました。

5/17 中野区「ふれあい運動会」の運営奉仕を行いました。BS隊から多くのスカウトが奉仕要請に応え、車いす介助や競技中の安全確保に当たりました。毎年ボーイスカウトが奉仕している行事で、運営にはスカウトの力が欠かせません。選手誘導やゴールテープ係なども担当し、積極的に奉仕をしていました。途中でパン食い競争にも参加し、楽しむことも出来たようです。

5/24 次週の信仰奨励挑戦集会に向けて、信仰・宗教について学びました。また、夏キャンプに向けての目標作りを行いました。



5月のスカウト進歩情報

CS:	K. T. くん	チャレンジ章「自転車博士」
	K. H. くん	チャレンジ章「自転車博士」
	C. M. さん	チャレンジ章「自転車博士」
	S. Y. さん	チャレンジ章「自転車博士」
BS:	Y. F. くん	進級章 2級



「第23回世界スカウトジャンボリー(23WSJ)」に向けた準備が進んでいます。

5/17 前回と同じく世田谷区の赤堤教会にて準備集会が行われました。集会開始前にガイドブック等の資料が配布され、スカウト達は興味津々で内容を確認していました。班作業の時間では打ち解けあってきた様子をうかがうことができました。また、外国語バッチ課題を全スカウトがクリアし、目標を達成することができました。派遣隊では6月に訓練キャンプも予定しており、より23WSJに特化したプログラムに挑戦してまいります。

ちよつぽつとえいと

活動で見つけたほのぼの話

ゴールデンウィークに行われたボーイ隊のキャンプには久しぶりに懐かしい大人たちが顔を合わせました。先月のこの欄でご紹介したニューヨーク帰りの小倉リーダーとそのご家族、団委員でカブ隊デンリーダーでもある土岐リーダー（CS 孝太郎くんも一緒に）、団委員の山田リーダー、さらにOBリーダーとお子さん。いずれも40年ちかく前には、ボーイ隊として一緒にキャンプをしていた面々です。さらにサポートのRSもOB含め久しぶりに3人がそろい、BSスカウトたちのキャンプを手伝いながら昔話に花が咲きました。いくつになってもこうしてテントサイトで集まって楽しめるのが、キャンプで苦楽を共にした仲間です。



リーダーの活動

- 4/26-29 東連WB研修所
ビーバー隊課程
- 5/3-5 東連団研修所
- 5/8 地区円卓会議
- 5/10 団会議
- 5/16 夏キャン下見
- 5/17 中野7団50周年
記念式典参列
- 5/19 地区ミツヨナ会議
- 5/22 地区委員会
- 5/24 リーダー会議
- 5/29 合同各地区委員会



スカウト互知識

「活動の特徴」

スカウト活動では、年齢に応じていくつかの部門に分かれています。最初に活動を始めた少年達は、ローティーン、つまり現在のボーイ隊の年代にあたります。スカウト活動全体を「ボーイスカウト」と呼び、部門の名前が「ボーイ隊」その部門に所属するスカウトを「ボーイスカウト」と呼ぶように、ボーイ隊の活動は、ボーイスカウト活動の根幹に当たります。ボーイ隊に上進するときに「ちかいをたてる」のも、ボーイ隊以上が同じベージュ色の制服になるのも、ボーイ隊こそが、創始者ベーデン=パウエルが最初に目指した「よりよい社会人となるべく導く」思春期の少年少女たちだからです。カブ隊やビーバー隊は、ボーイスカウトになるための準備期間と言えます。

ボーイ隊の活動の大きな特徴は「班制度」と「進歩制度」です。「班制度」は、6～8名ごとに班を作り、約束（規律）を大切に、相互に協力しあい、それぞれのスカウトが役務分担によって自分の担当についてリーダーシップを発揮する機会が得られるように編成しています。「社会性」を体験し、学ぶ機会となっています。「進歩制度」は、その年代で獲得してほしい知識・技能・心構えを必須要素とし、個々のスカウトが興味を持ったり関心のあることを選択要素として、自らが課題（目標）に対して達成計画を立て、自修して、それを乗り越えるという「自発活動」によるものです。そしてその挑戦を応援するように、目標を達成するそれぞれの段階で獲得できるバッジが用意されています。この仕組みを「バッジ・システム」と呼んでいます。この2つの制度はカブ隊の活動においても、年代に合わせた形で導入されています。

* 活動の写真はホームページにアップされています。個人情報保護のためパスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。
<http://members2.jcom.home.ne.jp/bsn8/>